

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年8月13日

【四半期会計期間】 第42期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

【会社名】 株式会社ハマキョウレックス

【英訳名】 HAMAKYOREX CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大須賀 秀徳

【本店の所在の場所】 静岡県浜松市南区寺脇町1701番地の1

【電話番号】 (053)444-0054

【事務連絡者氏名】 常務取締役執行役員管理本部長 山崎 裕康

【最寄りの連絡場所】 静岡県浜松市南区寺脇町1701番地の1

【電話番号】 (053)444-0054

【事務連絡者氏名】 常務取締役執行役員管理本部長 山崎 裕康

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

1. 訂正の経緯

当社は、平成25年6月下旬に滞留債権の回収進捗について確認を行ったところ、過去の架空売上計上及び取引業者を利用した着服の疑いが生じたことから、平成25年7月12日付で調査委員会を設置し、調査を進めてまいりました。その結果、過年度の架空売上計上及び取引業者を利用した着服が行われていることが判明し、四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正することと致しました。

2. 会計処理

四半期連結財務諸表において過大に計上されていた「営業収益」及び「営業原価」を修正するとともに、架空売上・着服に係る債権の修正等、必要と認められる修正を行いました。

これらの決算訂正により、当社が平成25年2月13日に提出致しました第42期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容に係る訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出致します。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(2) 財政状態の分析

第4 経理の状況

- 1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1 株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第41期 第3四半期 連結累計期間	第42期 第3四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
営業収益 (百万円)	<u>68,619</u>	<u>68,265</u>	<u>89,935</u>
経常利益 (百万円)	<u>5,361</u>	<u>5,470</u>	<u>6,552</u>
四半期(当期)純利益 (百万円)	<u>2,785</u>	<u>2,832</u>	<u>3,423</u>
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	<u>3,159</u>	<u>3,216</u>	<u>3,951</u>
純資産額 (百万円)	<u>27,590</u>	<u>31,182</u>	<u>28,382</u>
総資産額 (百万円)	<u>86,138</u>	<u>86,548</u>	<u>85,164</u>
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	<u>333.47</u>	<u>339.14</u>	<u>409.84</u>
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	<u>27.6</u>	<u>31.2</u>	<u>28.7</u>

回次	第41期 第3四半期 連結会計期間	第42期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	<u>136.90</u>	<u>132.19</u>

(訂正後)

回次	第41期 第3四半期 連結累計期間	第42期 第3四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
営業収益 (百万円)	<u>68,499</u>	<u>67,999</u>	<u>89,718</u>
経常利益 (百万円)	<u>5,241</u>	<u>5,204</u>	<u>6,336</u>
四半期(当期)純利益 (百万円)	<u>2,698</u>	<u>2,665</u>	<u>3,275</u>
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	<u>3,073</u>	<u>3,049</u>	<u>3,803</u>
純資産額 (百万円)	<u>27,231</u>	<u>30,595</u>	<u>27,961</u>
総資産額 (百万円)	<u>85,778</u>	<u>85,960</u>	<u>84,744</u>
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	<u>323.10</u>	<u>319.16</u>	<u>392.18</u>
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	<u>27.3</u>	<u>30.7</u>	<u>28.4</u>

回次	第41期 第3四半期 連結会計期間	第42期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	<u>132.71</u>	<u>123.24</u>

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

こうした中、当企業グループの当第3四半期連結累計期間は、営業収益682億65百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益53億79百万円（同0.7%増）、経常利益54億70百万円（同2.0%増）、四半期純利益28億32百万円（同1.7%増）となりました。

(訂正後)

こうした中、当企業グループの当第3四半期連結累計期間は、営業収益679億99百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益51億13百万円（同2.1%減）、経常利益52億4百万円（同0.7%減）、四半期純利益26億65百万円（同1.2%減）となりました。

(訂正前)

①物流センター事業

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、331億23百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は、39億93百万円（同4.6%減）となりました。

営業収益におきましては、前年同期比5億23百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、不採算荷主との契約解除等があったものの、平成24年4月に取得した連結子会社（㈱ジェイビーエス）と前連結会計年度までに受託したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

営業利益におきましては、前年同期比1億94百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、新規業務立上コストの発生と、当第3四半期連結会計期間での急激な気温の変化等により、例年のない物量波動に対応するためのコストが発生したことによるものであります。

(訂正後)

①物流センター事業

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、328億57百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は、37億27百万円（同8.4%減）となりました。

営業収益におきましては、前年同期比3億77百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、不採算荷主との契約解除等があったものの、平成24年4月に取得した連結子会社（㈱ジェイビーエス）と前連結会計年度までに受託したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

営業利益におきましては、前年同期比3億40百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、新規業務立上コストの発生と、当第3四半期連結会計期間での急激な気温の変化等により、例年のない物量波動に対応するためのコストが発生したことによるものであります。

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

当企業グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比13億83百万円増加し865億48百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加し、流動資産が15億91百万円増加したことと、償却等により固定資産が2億7百万円減少したことによるものであります。

(訂正後)

当企業グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比12億16百万円増加し859億60百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加し、流動資産が14億24百万円増加したことと、償却等により固定資産が2億7百万円減少したことによるものであります。

(訂正前)

純資産につきましては、前連結会計年度末比28億円増加し311億82百万円となりました。これは主に、四半期純利益28億32百万円の計上と剰余金の配当による減少3億25百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の28.7%から31.2%へと増加しております。

(訂正後)

純資産につきましては、前連結会計年度末比26億33百万円増加し305億95百万円となりました。これは主に、四半期純利益26億65百万円の計上と剰余金の配当による減少3億25百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の28.4%から30.7%へと増加しております。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

(1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

(2) 当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】
 (訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,442	5,223
受取手形及び売掛金	※3 12,072	※3 12,921
商品	3	2
貯蔵品	132	125
その他	1,201	1,172
貸倒引当金	△36	△37
流動資産合計	17,816	19,407
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,700	23,059
土地	34,113	34,135
その他(純額)	3,997	3,959
有形固定資産合計	61,810	61,154
無形固定資産	1,981	2,051
投資その他の資産	※1 3,555	※1 3,934
固定資産合計	67,347	67,140
資産合計	85,164	86,548
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 6,161	※3 6,229
短期借入金	24,708	22,605
未払法人税等	1,515	765
賞与引当金	546	324
役員賞与引当金	46	38
その他	4,590	4,852
流動負債合計	37,570	34,816
固定負債		
長期借入金	9,658	10,984
退職給付引当金	4,915	4,962
役員退職慰労引当金	348	406
その他	4,288	4,195
固定負債合計	19,211	20,549
負債合計	56,782	55,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045	4,045
資本剰余金	3,951	3,951
利益剰余金	16,498	19,005
自己株式	△8	△8
株主資本合計	24,486	26,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12	△12
その他の包括利益累計額合計	△12	△12
少数株主持分	3,908	4,200
純資産合計	28,382	31,182
負債純資産合計	85,164	86,548

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,442	5,223
受取手形及び売掛金	※3 11,369	※3 11,939
商品	3	2
貯蔵品	132	125
その他	1,483	1,567
貸倒引当金	△36	△37
流動資産合計	17,396	18,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,700	23,059
土地	34,113	34,135
その他(純額)	3,997	3,959
有形固定資産合計	61,810	61,154
無形固定資産	1,981	2,051
投資その他の資産	※1 3,555	※1 3,934
固定資産合計	67,347	67,140
資産合計	84,744	85,960
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 6,161	※3 6,229
短期借入金	24,708	22,605
未払法人税等	1,515	765
賞与引当金	546	324
役員賞与引当金	46	38
その他	4,590	4,852
流動負債合計	37,570	34,816
固定負債		
長期借入金	9,658	10,984
退職給付引当金	4,915	4,962
役員退職慰労引当金	348	406
その他	4,288	4,195
固定負債合計	19,211	20,549
負債合計	56,782	55,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045	4,045
資本剰余金	3,951	3,951
利益剰余金	16,078	18,418
自己株式	△8	△8
株主資本合計	24,066	26,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12	△12
その他の包括利益累計額合計	△12	△12
少数株主持分	3,908	4,200
純資産合計	27,961	30,595
負債純資産合計	84,744	85,960

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益	68,619	68,265
営業原価	61,637	61,238
営業総利益	6,981	7,026
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	7	3
役員報酬	356	329
給料及び手当	394	393
賞与引当金繰入額	25	41
役員賞与引当金繰入額	39	39
退職給付費用	22	22
役員退職慰労引当金繰入額	22	49
その他	768	769
販売費及び一般管理費合計	1,637	1,647
営業利益	5,343	5,379
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	31	25
負ののれん償却額	152	152
助成金収入	40	70
雑収入	186	179
営業外収益合計	412	429
営業外費用		
支払利息	318	282
雑損失	76	56
営業外費用合計	394	338
経常利益	5,361	5,470
特別損失		
投資有価証券評価損	10	2
保険解約損	11	—
災害による損失	10	—
特別損失合計	31	2
税金等調整前四半期純利益	5,329	5,467
法人税、住民税及び事業税	1,915	2,019
法人税等調整額	240	231
法人税等合計	2,156	2,250
少数株主損益調整前四半期純利益	3,173	3,216
少数株主利益	387	383
四半期純利益	2,785	2,832
少数株主利益	387	383
少数株主損益調整前四半期純利益	3,173	3,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	△0
その他の包括利益合計	△13	△0
四半期包括利益	3,159	3,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,771	2,833
少数株主に係る四半期包括利益	387	383

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益	68,499	67,999
営業原価	61,632	61,230
営業総利益	6,867	6,768
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	12	11
役員報酬	356	329
給料及び手当	394	393
賞与引当金繰入額	25	41
役員賞与引当金繰入額	39	39
退職給付費用	22	22
役員退職慰労引当金繰入額	22	49
その他	768	769
販売費及び一般管理費合計	1,643	1,655
営業利益	5,223	5,113
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	31	25
負ののれん償却額	152	152
助成金収入	40	70
雑収入	186	179
営業外収益合計	412	429
営業外費用		
支払利息	318	282
雑損失	76	56
営業外費用合計	394	338
経常利益	5,241	5,204
特別損失		
投資有価証券評価損	10	2
保険解約損	11	—
災害による損失	10	—
特別損失合計	31	2
税金等調整前四半期純利益	5,210	5,201
法人税、住民税及び事業税	1,915	2,019
法人税等調整額	207	132
法人税等合計	2,123	2,152
少数株主損益調整前四半期純利益	3,086	3,049
少数株主利益	387	383
四半期純利益	2,698	2,665
少数株主利益	387	383
少数株主損益調整前四半期純利益	3,086	3,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	△0
その他の包括利益合計	△13	△0
四半期包括利益	3,073	3,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,685	2,666
少数株主に係る四半期包括利益	387	383

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

(訂正前)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
投資その他の資産	33百万円	35百万円

(訂正後)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
投資その他の資産	48百万円	57百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	32,599	36,019	68,619	—	68,619
セグメント間の内部売上高 又は振替高	398	1,236	1,634	△1,634	—
計	32,998	37,255	70,254	△1,634	68,619
セグメント利益	4,188	1,152	5,340	3	5,343

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	32,480	36,019	68,499	—	68,499
セグメント間の内部売上高 又は振替高	398	1,236	1,634	△1,634	—
計	32,878	37,255	70,134	△1,634	68,499
セグメント利益	4,068	1,152	5,220	3	5,223

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	<u>33,123</u>	35,141	<u>68,265</u>	—	<u>68,265</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	479	1,097	1,577	△1,577	—
計	<u>33,602</u>	36,239	<u>69,842</u>	△1,577	<u>68,265</u>
セグメント利益	<u>3,993</u>	1,380	<u>5,374</u>	5	<u>5,379</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	<u>32,857</u>	35,141	<u>67,999</u>	—	<u>67,999</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	479	1,097	1,577	△1,577	—
計	<u>33,337</u>	36,239	<u>69,576</u>	△1,577	<u>67,999</u>
セグメント利益	<u>3,727</u>	1,380	<u>5,108</u>	5	<u>5,113</u>

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(訂正前)

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	<u>333円47銭</u>	<u>339円14銭</u>
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	<u>2,785</u>	<u>2,832</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	<u>2,785</u>	<u>2,832</u>
普通株式の期中平均株式数(株)	8,353,375	8,353,188

(訂正後)

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	<u>323円10銭</u>	<u>319円16銭</u>
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	<u>2,698</u>	<u>2,665</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	<u>2,698</u>	<u>2,665</u>
普通株式の期中平均株式数(株)	8,353,375	8,353,188

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月13日

株式会社ハマキョウレックス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 谷 津 良 明 ⑩

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 田 剛 己 ⑩

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハマキョウレックスの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハマキョウレックス及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載のとおり、会社は平成25年1月31日開催の取締役会においてSGホールディングス株式会社と資本・業務提携に関する基本合意書を締結した。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成25年2月13日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。